

## 3学年通信

## Practice Makes Perfect

担当：木下

**☆愛知県は求人数が多い！だからと言って油断してはダメ！**

皆さんは、「県外就職率」という言葉を知っていますか？この言葉は、愛知県ではほとんど聞かない言葉だと思います。なぜなら愛知県は求人が豊富で、わが三河高校でも毎年多くの求人数を頂いています。しかし、他県ではそういうわけにはいきません。私の地元、長崎県では、愛知県の約15[%](令和2年度の求人数を比較)の求人数しかありません。その為、半数以上の生徒が県外に就職もしくは進学せざるを得ない現状があります。

愛知県では求人数が多く、自分の生まれた場所で仕事を探せます。高校生の県外就職率は、4.1[%]と47都道府県の中で一番低いことがそれを表しています。ここに甘えが出ている要因があるのではないかと考えます。

「どうせどこかに就職出来るだろう」とか「何もしなくても就職先はあるだろう」などと思っ  
ていては、真実を見誤ります。求人豊富さは生まれた場所によるもので、決して自分の実力を  
評価されたものではないことを認識しなければなりません。

求人が多いことに胡坐をかき、自己教育を怠れば、選ぶ側の企業に値踏みされます。採用する  
のは企業側です。中途半端な気持ちで応募しても、採用のプロである企業の採用担当者は、高校  
生を見極めることなどたやすいことです。「この生徒は、どのように雇用をすれば、企業にとっ  
て最適なのか、2～3年働いてもらって手放すか、定年まで働いてもらって会社に貢献してもら  
おうか。」などの判断基準は各企業が持っています。自分の知識や、友人・先輩などからの情報  
のみを人生の判断基準にしてはいけません。就職はアルバイト面接とは違うのです。就職活動は  
「選べるのが当たり前」という考えを捨てましょう。選ぶ立場なのか、選ばれる立場なのか、そ  
れを決定するのは、学歴や資格や実績、そして実力です。

これから具体的な就職先や進学先など決めるにあたり、地元がいい、家から近いほうがいいのか  
という考えの生徒が多いかもしれませんが、その理由は、自宅から通勤すれば、経済的な負担や家  
事の負担も軽くなるなどと考えているからではありませんか？

確かにそれは、一見、合理的に思うかも知れませんが、私は「何事も経験しなければ分からない  
」と思います。一人暮らしをすることで、親のありがたみや、家事の大変さが分かると思いま  
す。地元を離れ、一人で暮らすというのは、初めは不安もありますが、ワクワク感もあります。  
私自身、大学生になり、一人暮らしを始めた時、最初はホームシックになりましたが、徐々に慣  
れ、その後の「生きる力」につながったと思います。皆さんも「家から通う」ことにこだわら  
ず、もっと視野を広げてみてはどうですか？

さて、面接スタンプラリー(第1部)が終わり、第2部がスタートしました。面接練習に臨むに  
あたり、話す内容は、十分にまとめられていますか？十分な準備をしなければ、決して合格できま  
せん。まずはスタンプラリーの質問内容に沿う答えを考えつくして文章にし、何度も繰り返し読み  
こみ、自然な対応が出来るようにする。この一連の流れを経ないまま、就職活動を完遂すること  
はできません。中途半端な気持ちを排し、完璧を求め、地道な努力の継続を期待します。

厳しいことを書きましたが、私の本意は、今年の3年生全員が笑顔で卒業式を迎えることです。残りの高校生活をしっかりと計画を立て、希望の進路を目指してただひたすらに頑張ることを期待しています。

## 6月（水無月）の行事予定・月訓『誠実』

1	火	常任委員会	16	水	歯科検診予備日
2	水	通常授業(6時間)	17	木	3年就職模擬試験⑥
3	木	通常授業(6時間)※注文弁当なし	18	金	執行部合同会 15:50・計算技術検定(電気科)
4	金	通常授業(6時間)※注文弁当なし	19	土	受験対策講座④
5	土	愛産大OC	20	日	全商珠算・電卓実務検定(情報処理科)
6	日	日商簿記検定試験(情報処理科)	21	月	全校朝礼・月訓(努力)
7	月	3年就職講話(1限朝礼)	22	火	常任委員会 15:50・3年就職模擬試験⑦
8	火	3年実力診断(1~3限)	23	水	
9	水		24	木	
10	木	歯科検診(1~4限)・就職模擬試験⑤ 現況報告会準備(美化)	25	金	情報技術検定(電気科) 第2回面接スタンプラリー終了
11	金	現況報告会(45分授業)・公開授業 (午後)・第1回日本漢字能力検定	26	土	愛産大OC
12	土		27	日	全商簿記検定・実用英語検定
13	日		28	月	1学期期末試験①
14	月	チャレンジ0週・3年LT	29	火	1学期期末試験②
15	火		30	水	1学期期末試験③

## ☆コラム 『“You can take a horse to the water, but you can't make him drink.”』

3年生になり、早くも2ヶ月が経とうとしている。自分の目指す進路に向かって邁進しているだろうか。中間試験の結果は？中間試験に臨むまでの過程は、最上級としてふさわしいものであったか。正しく自己評価し、前に進む。今できるのはこれだけだ。

学校斡旋で就職する者は、7月26日の校内選考会議で応募できる企業が決まる。希望の企業への推薦を獲得できれば一安心だが(注・内定ではない!)、得られなければどうするのか。セカンドベストを目指すのみだ。

高卒即就職にこだわるのか、その後のキャリアアップ・就職活動を有利に進めるために上級学校を目指すのか。熟考しなければならない。最終的には自分が決める。

親や先生は指導や助言はしてくれるが、その後の人生は君自身が負うのだ。

「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない」ということわざを知っている人も多いだろう。人は他人に対して機会を与えることはできるが、それを実行するかどうかは本人のやる気次第なのだ。

「悲しき願い」にならぬよう、諸君の奮闘を期待する!

~~~~Blue 3 Manager ~~~